子どもの声を聴こう！

私たち今、「学童保育の子ども声を聴こう!!2021 秋」を子どもたちに呼びかけて、コロナ禍で大変な生活の中で率直な子どもたちの声を寄せてもらっています。その一部をご紹介します。

(コロナになって)イヤだったこと、こまったこと、がっかりしたこと

- ・ 毎日マスクをつけて出かけないといけないこと。マスク苦しい
 - ・ 濃厚接触者じゃないのに濃厚接触者やから遊ばれへんと友だちに言われたこと
 - ・ (ニュースを見て)「妊娠している人の赤ちゃんが、死んでんてえ」
 - ・ 自分がかからないか心配／家族や友達がかからんか心配
 - ・ いちいち注意されるのがうっとうしい
 - ・ みんな、人のせいにするのが嫌!若者のせいにしたり、年寄りが悪いとか、なんか悪口言うのが嫌
 - ・ おやつをみんなで食べれなくなったこと
 - ・ 学童でのイベントが少なくなったこと
 - ・ いきなり生活が変わって困った
 - ・ 友だちとお弁当を食べる時に話せない
 - ・ コロナで休校になった分、これから7時間授業がめっちゃくちゃ嫌。それなら、休校嬉しくない。毎日しんどい。
- (これだけは言いたい!と多数の声)

(コロナになったけれど)よかったと思うこと

- ・ 全部休みになっても学童があったこと
- ・ 指導員といっぱいあそべること
- ・ かわいいマスクできる
- ・ パパとママと家で遊べる時間が増えたこと。
- ・ しっかり手洗いする習慣がついた
- ・ 学校を休めたこと
- ・ ちょっと鼻水出てもマスクのおかげで見えてないこと。・ニキビが隠れる

コロナがなくなったら…

こんな風になってたらいいな!こんなことをやりたいな! と思うこと

- ・ 海にたくさん行きたい!
- ・ マスクをはずし、自由に遊びたい。・マスクとって叫びたい。マスクとって友だちとおしゃべりしたい
- ・ だがし屋さんにも、おやつを買いに行きたい。
- ・ マスクをつけずにプールに行きたい
- ・ おやつをみんなで食べたい!おやつ作りをみんなでしたい!
- ・ プール(コロナ気にせずに)とりあえず、遠出したいな!!
- ・ 友達や家族でどこへでも出かけたり、走り回って笑えるようなことをしたい
- ・ 思いっきりでっかい声でしゃべりたい

一人ひとりの声を届けよう

今年5月から全国の学童保育で「一人ひとりの声を届けよう」に取り組んでいます。学童保育の保護者は指導員から寄せられた声を冊子にまとめ、国（厚生労働省）や大阪府、市町村に届けます。大阪学童保育連絡協議会に届けていただいている「声」の一部を紹介します。

子どもたちが安心して過ごせる学童保育を

- ★ 子どもたちが安心して放課後を過ごせる場と、保護者が働きやすい環境づくりのためには、良質な指導員と良質な場所が必要です。安定して学童保育運営ができることで、社会全体の活性化にもつながると考えます。他のエッセンシャルワーカーと同様、指導員の安定した雇用を実現し、全力で子どもと向かってもらえる環境にしてもらいたいです。(保護者)
- ★ 基準を下げることなく、子どもたちが安心して過ごせる学童保育の実現のため、予算の増額をお願いします。(保護者)
- ★ 働く保護者にとって、学童保育はなくてはならない場所です。子どもにとっても保護者の帰りを待って、ただただ時間をつぶす場所ではなく、専門的に知識を持った指導員のもと、異年齢の子どもたちと一緒に遊んだり、ケンカをしたりぶつかったり、協力し合ったりしながら過ごすことで、自分で考え、困難を乗り越える力をつける場所です。(保護者)
- ★ シングルマザーでフルタイム勤務をしております。学童保育では娘が小学校入学時からお世話になっておりますが、もしも学童保育がなかったら仕事もできず、生活費も稼げず、生活できなかつたです。大阪に親戚もおらず、本当に頼れるのは学童だけ存在です。(保護者)
- ★ 現代の労働社会において、学童保育は必須。全体的な予算拡大を望みます。(保護者)
- ★ 共働きや放課後、子どもたちの保育を十分になすことができない保護者にとって、習い事ではなく、子どもたちの生活サポートもしてくれる学童保育の存在は不可欠ですが、費用負担が大きく、選択できない家庭もあると思われます。予算を増額してください。(保護者)
- ★ ”女性活躍”が必要な世の中になってきています。心から安心して会社で活躍するためには、安心して子どもを預けられる場所が不可欠です。保育園の後の居場所について国や市や行政でもう少し本腰を入れたサポートを期待しています。(保護者)
- ★ 私には1年生と3年生、2人の子どもがいます。仕事が忙しい時、学童へのお迎えが遅くなり、罪悪感を抱えながら子どもたちを迎えるのですが、子どもたちは“第2の我が家”というような感覚でとても楽しく安心して過ごせているので、“もう来たん?”というように、まるで親の罪悪感など全く感じさせないように、学童の指導員と安心して過ごせています。
- ★ 学童保育は単に働いている親が時間まで預ける、子どもがどうにか過ごす場所、ではない!!と

いうことを強く言いたいです。我が子にとって心の拠り所です。学校で嫌なこと、心配なこと、消化しきれないことを「あんナ・・・学校でこんなことあってな・・・」と聞いてもらえたりしているようです。学校でも、友だちでも違う別の大人の存在は、特にこれから思春期を迎える年齢で、親は心配ですが、指導員の存在は心強いです。頼りにしているのです。(保護者)

- ★ 子どもたちを取り巻く環境が急速に、そして急激に変わっています。その中で子どもたちは一生懸命頑張っています。大人の影響、社会の影響で子どもたちの環境は大きく左右させられています。小学校時代の子ども同士の関わりや見守る大人との関わりは、その子の人生に多大な影響をもたらします。この重要な時期のお子さんを学童保育はお預かりしています。豊かな保育環境で、そして、専門性ある指導員でしっかりと子どもや保護者と関わられるよう、今よりもっともっと豊かな放課後健全育成事業をしてもらいたいです。今のままではあまりにも現場まかせすぎだと思います。(指導員)
- ★ 部屋の規模的なことを言えば、狭いです。コロナ禍中、自分自身の身を脅かされております。子どもともども、安全で安心して生活できるよう希望します。(指導員)
- ★ 働く親の立場から学童保育は、なくてはならない存在です。親が安心して働くことができます。子どもにとっても、一人で自宅で親を待つ不安もなく、同じ小学校に通う友達と同じ時間を過ごすことができます。(保護者)

コロナ禍のもとでの学童保育

- ★ 私は総合病院で働いているので、コロナで緊急事態宣言の時も平時と何も変わることなく働いておりました。在宅勤務等は一切なしです。学校が休みの間、やんちゃな男の子2人を保育のフロアに一日中、みてもらったことは非常にありがたく、安心して働くことができました。(保護者)
- ★ 子どもたちだけでなく、我々親も安心感が得られ、ともに成長させていただいています。今回のコロナ禍で、共働き家庭にとって充実した保育環境がいかに大切か、痛感しました。子どもがいかなる状況でも、安心安全に生活できる保育環境を整えるための予算をつけてください。(保護者)
- ★ 新型コロナウイルス感染症により、誰も大きく環境が変わり不安定と感じる中で、いつもと変わらない”第2の我が家”という場所を作ってくれたことに関しては感謝しかありません。子どもたちが普段と何一つ変わらない笑顔や、今日の出来事を嬉しそうに話してくれる姿が毎日の疲れを忘れさせてくれました。(保護者)
- ★ コロナ禍で学校が臨時休校になり両親とも仕事で、学童保育が開所し続けてくれたことが、子どもだけでなく親の立場からも本当にありがたかったです。(保護者)
- ★ コロナ禍が続く中で、はじめは学校も休校、親もバタバタの中、学童保育だけがどっしりと受け入

れて下さり、本当にありがたかったです。子どももきっと今までとは違ったその変化に戸惑っていたと思います。そんな中でも学童は、いつもの指導員、いつも見るそれぞれの学年、それぞれの学校のお友達。休校になってでもいつものメンバーというのは、どれほどホッとしたかと思います。地震などの不測の事態も心配されます。すべての学童に予算の大幅な増額を希望いたします。(保護者)

- ★ 今、コロナ現状で消毒で、児童室のどこからどこまでがハッキリしていないところ。あそび場も気になる。(指導員)
- ★ 現状では指導員数、保育室、休憩室など足りていない。コロナ禍で部屋に大人数を詰め込んでいるので、マスクや、子ども同士が近かったりなど注意が増え、指導員・子どもも精神的負担が大きい。(指導員)

指導員の専門性と処遇改善を

- ★ コロナという大変な状況の中でも、常に子どもと保護者のことを一番に考えてくださる指導員の方たちには感謝しかありません。どうか指導員の方たちがもっと働きやすくなるように、処遇改善などよくお願いします。(保護者)
- ★ 教育機関の資格者養成の場が少ないため、支援員不足となっています。処遇も低いため、離職率の上昇やなり手不足をまねいています。従って、教育機関(国公立大学の教育学部での学科設置、拡充等)のバックアップ体制の整備と人件費予算の拡大をお願いします。(保護者)
- ★ 日々子どもたちのために心を砕いてくださっている指導員さんの給与引き上げのために、人件費にける予算を手厚くしてください。(保護者)
- ★ 指導員の労働環境は決して良いものではなく、保護者として申し訳ないです。指導員の労働内容に対する報酬が改善されることで、もっとよりよい育ちに繋がると思います。(保護者)
- ★ 指導員数が足りていないところがあり、指導員に余裕がなく、子どもに対して丁寧な対応ができにくいこともある。人員確保のため、指導員の処遇改善をする必要がある。(指導員)
- ★ コロナで学童保育の大切さ、必要さが表面に表れてきたので、今一度、全国の学童保育指導員の処遇や、民間委託が行われているところの保育内容の実情を把握し、改善に努めてほしいと切に願います。(指導員)
- ★ 指導員になって33年、もう少して定年ですが、退職金は少なく、年金も国民年金から数年前に厚生年金に代わったので、もらえる金額は少額、不安だらけです。指導員の処遇が低く継続的な勤務環境にしていくためにも、人件費予算を大幅に引き上げてもらいたいです。コロナ禍の中、指導員は自分のことより学童優先で頑張ってきました。これからも安心して働き続けられるようお願いします。(指導員)